

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年4月20日		記入者		連絡先	2632
平成18年度部名	保健福祉部		課名	介護予防推進室		課長名 佐藤浩三
平成19年度部名	保険高齢部		課名	介護予防推進課		課長名 佐藤浩三
事務事業名	地域包括支援センター運営事業					
予算上の事務事業名	地域包括支援センター運営事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)						
相模原市地域包括支援センター等運営事業実施要綱						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	第3期高齢者保健福祉計画		地域における高齢者の相談窓口として、特定高齢者の介護予防ケアマネジメント、相談支援、権利擁護、ケアマネジャーへの支援などを行う。			
計画年次	平成18	年度～	平成20	年度		
4 事業形態の区分	窓口・相談		5 事業開始年度	平成18年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
地域の高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助、支援を包括的に行い、地域ケアの推進を図る。					65歳以上の高齢者やその家族等	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<p>地域包括支援センターの運営</p> <p>社会福祉法人等への委託により、市内18か所に地域包括支援センターを設置し、運営を行った。</p> <p>相談件数：5,488件 地域高齢者の実態把握：51,935件</p> <p>地域包括支援センター運営協議会の開催</p> <p>地域包括支援センターの公正性・中立性を確保し、その円滑かつ適正な運営を図るため、関係者による協議や評価を行う場として、地域包括支援センター運営協議会を設置、開催した。</p> <p>平成18年度 2回開催</p>						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	399,214	499,262	461,476	
一般財源	0	0	111,550	169,907	132,121	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	287,664	329,355	329,355	
人件費の合計	0	0	56,350	64,400	64,400	
事業コスト合計	0	0	455,564	563,662	525,876	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	地域包括支援センター運営事業(委託分) 在宅介護支援センター2か所を含む			対象名称 と単位	設置箇所数(か所)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)			381,215	437,111	437,111	
対 象 数			20	22	22	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	19,060,750	19,868,682	19,868,682	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.04	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	実態把握（継続的な状況把握と助言・指導）の実施率	指標式と指標の説明	実態把握年間延実施件数÷高齢者人口×100 高齢者人口に占める実態把握の実施率		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			45.9		
目標			30.0	31.0	32.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	153.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	要支援・要介護認定者数の推計値に対する要支援・要介護認定者数の実績値	指標式と指標の説明	要支援・要介護認定者数の推計値÷実績値×100 推計認定者数に対する実績値の達成状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			104.7		
目標			100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	104.7		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域包括支援センターが担う業務は多岐にわたり、国基準の職員体制では、必ずしも十分な地域ケアができないことから、マンパワーの充実を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
地域包括支援センター職員の増員や、システム導入による事業実施体制の効率化を図る。			現在、地域包括支援センターの職員体制は、地域の高齢者人口により格差を設けているが、今後は、担当地域の広さなどの地理的条件も加味する必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、より効果的な事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			